

# 東北地方 1か月予報

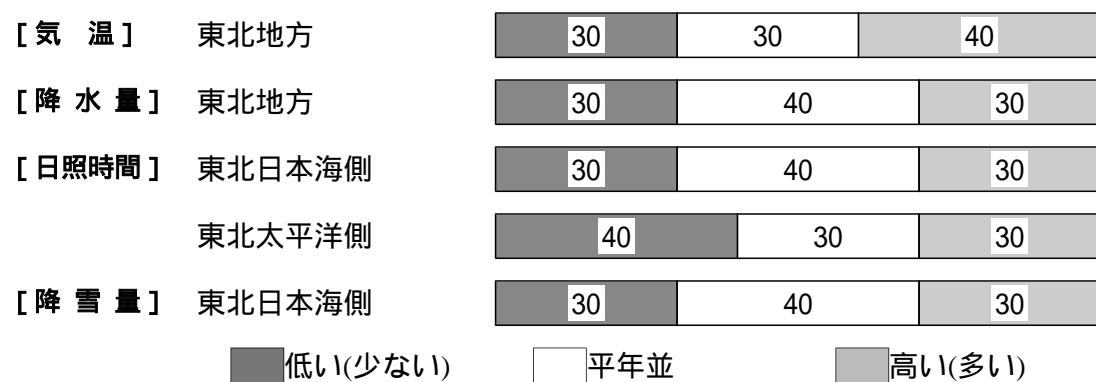
(1月16日から2月15日までの天候見通し)

平成22年1月15日  
仙台管区気象台発表

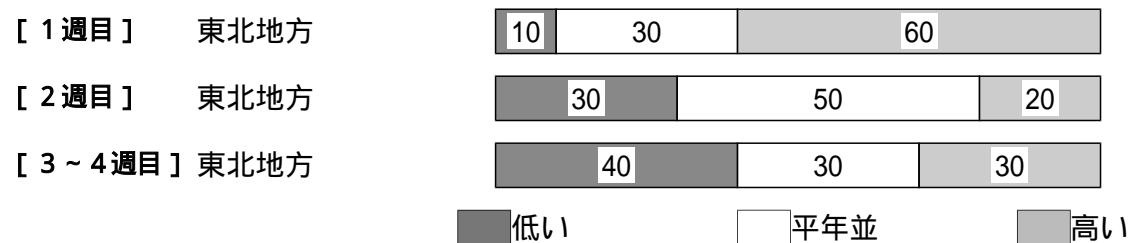
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。  
週別の平均気温は、1週目は高い確率が60%、2週目は平年並の確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 1月16日(土) ~ 2月15日(月)  
1週目 : 1月16日(土) ~ 1月22日(金)  
2週目 : 1月23日(土) ~ 1月29日(金)  
3~4週目 : 1月30日(土) ~ 2月12日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月22日  
3か月予報:1月25日(月) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.7	144.1	66.2	264	-1.6	-2.0	-1.7
深浦	-0.8	86.2	39.3	136	-0.6	-1.0	-0.8
むつ	-2.0	92.0	86.7	193	-1.7	-2.1	-2.1
八戸	-1.5	55.5	140.3	115	-1.3	-1.7	-1.5
秋田	-0.4	103.6	56.1	144	-0.3	-0.6	-0.4
盛岡	-2.3	52.4	135.6	120	-2.3	-2.6	-2.3
大船渡	0.4	50.5	155.9	31	0.4	0.1	0.4
宮古	-0.2	69.5	169.0	65	0.0	-0.4	-0.3
仙台	1.2	39.2	162.8	38	1.3	1.0	1.2
石巻	0.3	38.0	177.9	14	0.4	0.0	0.3
山形	-0.8	74.2	98.2	173	-0.8	-1.0	-0.7
新庄	-1.5	171.7	49.7	292	-1.5	-1.7	-1.4
酒田	1.0	136.6	49.2	148	1.2	0.9	1.0
福島	1.2	45.9	151.4	87	1.2	1.0	1.2
若松	-0.9	75.2	94.3	191	-0.9	-1.1	-0.9
白河	-0.1	30.8	169.9	56	-0.1	-0.3	-0.1
小名浜	3.3	52.1	196.6	0	3.3	3.1	3.2

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.8	75～111	95～106	87～106
東北日本海側	-0.4～+0.7	89～105	91～111	91～108
東北太平洋側	-0.4～+0.8	63～112	97～104	80～109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.7～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.7～+0.9	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.7～+1.0	-0.5～+0.8

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成22年1月15日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(1月16日~2月15日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 1週目(1月16日~1月22日):

東北日本海側は期間のはじめと終わりは寒気や気圧の谷の影響で雪や雨が降りますが、期間の中頃は高気圧におおわれておおむね晴れるでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心におおむね晴りますが、期間の終わりは雪や雨の降る日がある見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

### 2週目(1月23日~1月29日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

### 3~4週目(1月30日~2月12日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

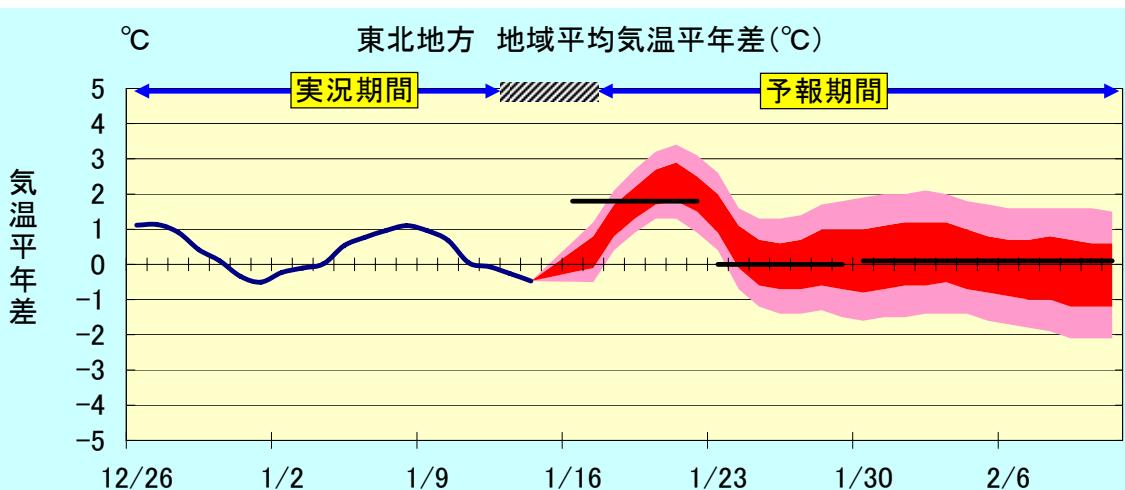
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.2日	1.3日	1.3日	2.6日
東北太平洋側	18.5日	4.5日	4.7日	9.3日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3~4週目は平年付近の予想となっている。



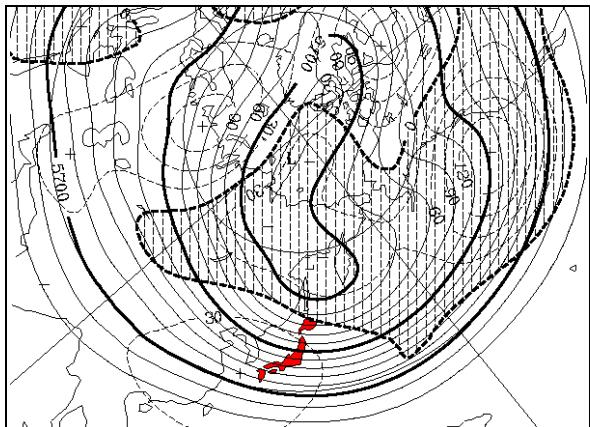
- ・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。
- ・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は東シナ海を中心をもつ正偏差におおわれ、気温は高温傾向が見込まれるが、日本の北には負偏差があり、一時寒気の影響も見込まれる。

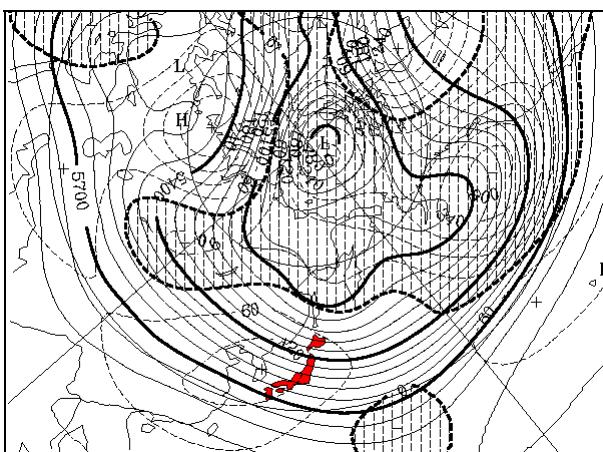
1週目: 日本付近は朝鮮半島付近を中心をもつ正偏差におおわれ、気温は高温が予想される。

2週目: 日本付近は東シナ海を中心をもつ正偏差におおわるが、東北地方の偏差は小さく、北海道以北に負偏差がかかることから、一時寒気の南下も見込まれる。気温は平年並が予想される。



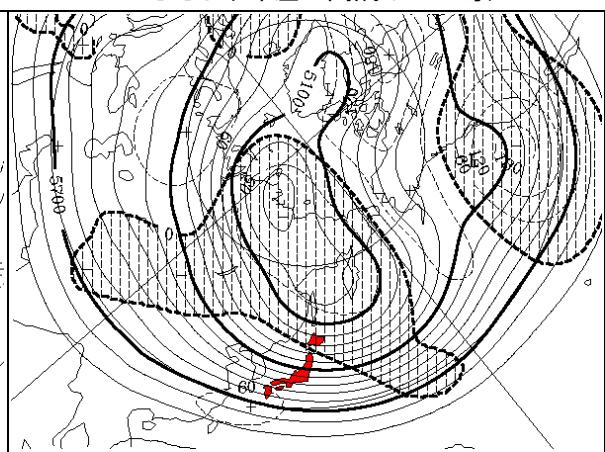
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）  
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

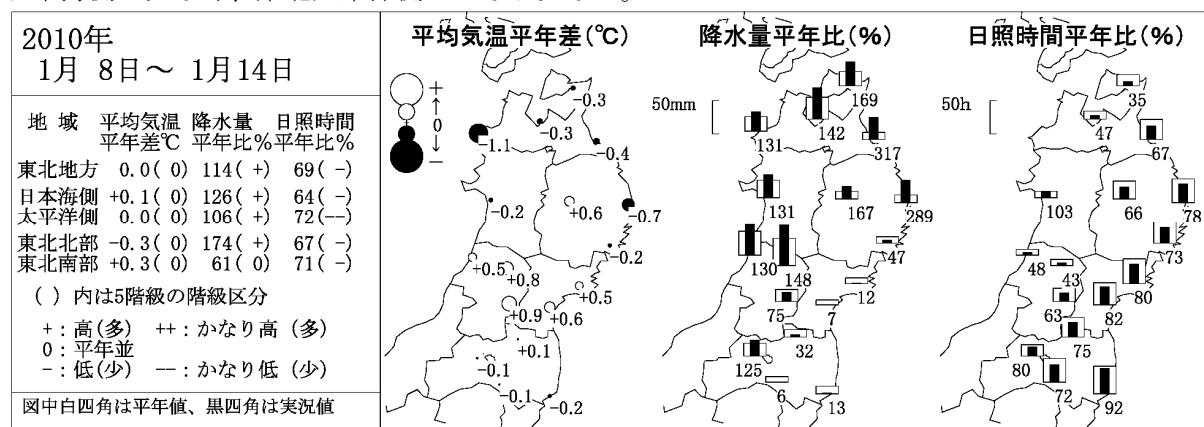


2週目平均 500hPa 予想天気図

### 4. 最近1週間 (1月8日～1月14日) の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が多く、期間の後半には低気圧の影響も受けて、曇りや雪または雨の日が多かった。期間の前半には冬型の気圧配置が緩み晴れるところもあった。13日は、本州南岸にあった低気圧が発達しながら三陸沖を北東進し、また、日本海にあった低気圧が東北地方を通過した影響で、各地で大荒れの天気となり、山形県や福島県で強風による被害が発生した。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）